

お お な み

78号

こ な み

ウェーブ通信 (no.78)

2016年 10月号

NPO 法人
コミュニティ・
ネットワーク・ウェーブ



「祭りの雨」 小林寛司

雨に泣いたふれあいフェスタ

今回で7回目となる「小泉公園ふれあいフェスタ」が10月8日（土）に開かれました。台風18号が通り過ぎて、台風一過の良い天気になるはずだったのに、19号の発生で天気予報が刻々と変わり、当日朝の予報は「午前中曇りで午後から雨、夕方には晴れ間も出るかも。雨の確率は70%」。

雨の場合は、会場が駒沢中学校になります。朝6時の時点で実行委員長と事務局で相談して、開催条件を決めることになっていました。その時点ではまだ雨は降ってなく、とても判断に迷う状況でした。できれば公園でやりたいという気持ちに引っ張られて、「雨の確率は高いけれど午前中は持つだろう。降っても小雨くらいで済むのでは……」との判断で、公園での開催を決めました。

ところが、会場設営の段階で小雨が降ったり止んだりの状況。それでも、そのくらいなら何とかと天を仰ぎ、止んでくれることを祈りながらスタートしました。会場には傘をさしながらも、たくさんの親子連れやご近所の方々が来てくださり、こんなお天気なのによく来てくださるな～と感激！！各ブースもにぎわっていました。芝生広場でも、今年初参加の保育園児さんと職員さんの演奏・お遊戯がなんともかわいく、雨も気にならないほどで、大きな拍手とアンコールまであり、明るい気持ちになりました。

しかし、降ったり止んだりしながらも時折雨足が強くなり、お昼前にはどしゃ降りの雨。実行委員長を囲んで中心メンバーが「どうしようか」と相談し、12時を持って終了を決めました。残念でしたが、強い降りを見ては仕方ないかとの気持ちで皆が片付けの作業に入ったころから雨が弱くなり、なんと片付け終わったら薄日が差してきたではありませんか！「雨が止んだので来た」という親子連れが何組もあり、事情を説明するこちら何とも悔しい思いでした。

すっかり雨があがった公園に最後まで残って見回りをすませ、それぞれ複雑な気持ちで公園をあとにしたのですが、「けさ阿蘇山が噴火して大変な状況らしい。今どきはいろんなことが起こる。こういうイベントの時にも何が起こるかわからないので、今回みたいに雨のため途中で中止というのが起こっても不思議ではない。こんなこともあるんだというよい経験をしたと思って、前向きにとらえましょう」と言ってくださった方に救われた気持ちになりました。

「若年性認知症」をご存じですか？

最近、テレビなどでもよく取り上げられている「若年性認知症」についてご存知でしょうか。認知症は年齢を重ねるとともに発症しやすくなるので、高齢者に多い病気ですが、年齢が若くても認知症になることがあり、18歳以上65歳未満で発症した場合を「若年性認知症」といいます。

症状は65歳以上の高齢者と同じで、記憶障害・認知機能障害があり、男女別では男性の患者さんが多く、患者数は高齢者の100分の1ほどです。

医学的には高齢者であっても若年者であっても同じ病気なのに、わざわざ「若年性認知症」といって区別するのはなぜでしょうか。それはこの世代が働き盛りで、家庭や社会で重要な役割を担っているので、病気により仕事や行動に支障がでると、本人や家族だけでなく、社会的にも大きな影響がでるからです。

本人や配偶者が現役世代のため、認知症になって仕事に支障がでて、約8割の方が退職に追い込まれ、経済的に困難な状況に陥っています。住宅ローンを抱えていたり、子どもが成人していない場合には、親の病気が子どもに与える心理的影響が大きく、教育・就職・結婚などの子ども自身の人生設計が変わることにもなりかねません。

また、この世代では、本人や配偶者の親の介護が重なることもあり、介護の負担がさらに大きくなりますが、現状の介護保険制度では、若年の方に対応できるサービスは非常に少なく、十分に活用できない状況です。

病気のため働き場を失い、経済面の不利益だけでなく、社会から取り残された気持ちになり、自分自身の存在意義も失ってしまうことのないように、適切な対応が必要だと思えます。 (K・E)



はじめまして。

はじめまして。4月からネットワーク・ウェーブの相談員として加わった大木清子です。若い頃は目黒区の保育園で、その後は母子生活支援施設ナオミホームで、そして単身女性更生施設東が丘荘で、さらに非常勤の23区内の婦人相談員など、主に女性支援の仕事をして来ました。

6月の総会では、みなさまとしばらくぶりにお会いできてうれしく思っております。目黒、世田谷は懐かしい場所です。母子生活支援施設ナオミホームのときも、更生施設東が丘荘のときにも、ウェーブの方々にお世話になりました。地域にありながらも、なかなか地域からは見えにくく、排除されがちな施設に、いつもウェーブの方々から力をいただいたことに感謝しています。施設に暮らす女性たちの、やるせなく、寄る辺ない日々の中で、ウェーブの方々のご支援で押し花しおりやカードを作ったり、マッサージやメイクアップの時間を持つことができ、これが心休まるひと時となったことを忘れることはできません。

なぜわたしが、女性の支援を続けて来たのか。第一は食べていくため。そして、わたし自身が女性差別、女性として生きることの困難を感じながら育ったからです。母子家庭で育った母は、祖母の生活を支え、弟たちを学校に行かせるため30歳過ぎまで働き続けました。仕事に生きがいを感じている時に、嫁に行かないことは許されないと、姑と2人暮らしだったわたしの父と結婚させられ、専業主婦にさせられたのです。母は、姑によるイジメ、夫からの暴力に苦しみ、娘（わたしのことです）に愚痴を言いながらも、家を出ることはできませんでした。日々、夫に馬鹿だといわれる生活をしているうちに、自活していく自信を失っていたのです。



わたしは自由に生きて行くためには自分の食い扶持は自分で稼がねばと働き続けながら、地域のNPOの方々の介護支援にも助けられ、父母を看送りました。気がつくと、自分自身も65歳過ぎの高齢者となり、これまでの低賃金に見合った低年金での生活となりましたが、子どもたちも成人し、今どうにか年金暮らしができることに感謝しています。

日本は1985年に、男女の権利の平等を求める女性差別撤廃条約を批准するため、男女雇用機会均等法が制定されましたが、その後女性にとっての職場はさらに厳しい状況となり、若い女性たちは願望としての「婚活」などの言葉に誘われるようになってきました。多くの女性にとって、ひとりの稼ぎだけで生活を維持することが困難になってしまったからです。貧困の世代的継承が問題となり、今マスコミで取り上げられている子どもの貧困は女性の貧困そのものです。

DV法が2001年に制定されましたが、女性への差別や暴力は続いています。貧困と暴力や支配は別のもとは言えません。「JK（女子高校生）お散歩」や「JKリフレ」に見られるように、貧困と虐待から性風俗・性産業に取り込まれる若い女性たちが増えています。




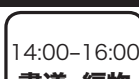





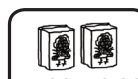





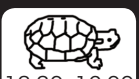



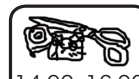

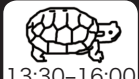


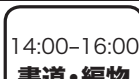
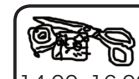


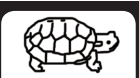

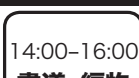

この格差社会で、若い女性の貧困はすさまじいまでに進行し、中高年女性の貧困はわたしたちの現実です。日本では、福祉や施設を利用することが恥と感じられたり、スティグマ（負の烙印）と見られがちですが、「福祉は権利」です。そんな女性たちに目を向けると同時に、女性への暴力の極みである戦争を二度と繰り返すことのないように願いながら、ともに歩めればと思っています。

（大木清子）

ウェブカレンダー

ウェブ分室
で開催

駒沢中学校「支えあ
いルーム」で開催

	日	月	火	水	木	金	土
第1週		 10:15-11:45 歌声サロン  13:30-16:00 みどりがめ		 10:00-12:00 健康体操  14:00-16:00 書道・編物 華道	 13:00-16:00 手作りサークル  14:00-16:00 手芸	 10:00-12:00 俳句を楽しむ	
第2週		 10:15-11:45 どんぐり  13:30-16:00 みどりがめ	 14:00-16:00 健康麻雀	 10:00-12:00 健康体操  14:00-16:00 書道・編物 華道	 14:00-16:00 手芸	 10:30-12:00 書道	 12:00-15:00 たんち山
第3週		 13:30-16:00 みどりがめ		 14:00-16:00 健康体操  14:00-16:00 書道・編物 華道	 13:00-16:00 手作りサークル  14:00-16:00 手芸		
第4週		 10:15-11:45 どんぐり  13:30-16:00 みどりがめ	 14:00-16:00 健康麻雀	 10:00-12:00 健康体操  14:00-16:00 書道・編物 華道	 14:00-16:00 手芸	 10:30-12:00 書道	 12:00-15:00 たんち山
第5週		 13:30-16:00 みどりがめ		 10:00-12:00 健康体操  14:00-16:00 書道・編物 華道	 14:00-16:00 手芸		

花絵の会

下記の月曜 13:30-15:30
に駒沢中学校の「支えあ
いルーム」で開催します。
● 11月 7日・21日
● 12月 5日・12日
● 1月 16日・30日



カレー
350円



お楽しみ
定食
400円

夕食会

毎週火・木曜日の
17:00～18:00に開催。
18:00以降に食べたい方は、
17:00までにお電話を!

身

体とのつきあい方

～身体の声聴きながら暮らしましょう～

文＝小野 殖子

みなさま、お変わりなくお過ごしでしょうか。昨年より1つ歳を重ねたせいか、日々の計画の実行の能率が上がらず、宿題がたまる一方です。反面、考えたいことやしたいことが次々に湧いてきて、時間が全く足りません。自身がヒラメならぬ「カレイ（加齢）」の実態に驚いて、対応に苦慮している最中です。

体力相応に身辺整理していきたいと思い、趣味で収集した品、書籍などは関心のある方々に進呈するなどしていますが、なかなか思うように整理できず、肝心のことが後回しになっています。かつては「退屈」「暇だから」などの言葉を耳にすることもあったのに、私自身、忙しい毎日です。

性格のせいか、友人、知人から相談されることが多く、「転んだら股関節骨折になり……」とか「脳梗塞になり食事するのもおおごとなの……」など、当事者にとっては思いがけない大事件のお知らせが次々と舞い込みます。人のお役に立てることはありがたいことですが、自分自身の健康があってこそ。あまり疲れすぎないようにほどほどにと、自分に言い聞かせています。

今年は賢く日々を送ったつもりでも、身体は芯まで疲弊しているのだろうと思うことがあります。それこそ転んだらおしまいなので、歩くときは十分注意しながらゆっくり歩きます。そして、脳梗塞にならないように日頃から食事には気をつけて、水分はたくさん摂るようにしています。

一人暮らしの老人を心配して、田舎や友人から季節の野菜や特産物を送ってくれますが、一人では食べきれないのでご近所や友人におすそわけします。こうした人と人との交流も、元気で生きていく上でとても大切なことです。

急に冷え込む日もあり、季節の変わり目のときは体調管理も難しいですが、どうぞみなさま、ご自身の身体の声聴きながらお元気でお過ごし下さい。

寅さんフォーエバー！(前編)

「映画だったら『男はつらいよ』が一番好きよ」と答える後輩に、俺は顔も見せずに半分鼻で笑った。第9作の「柴又慕情」が上映されていた昭和47年のことである。「シヨン・コネリーの007が俺は好きだな」と、カッコをつけて言った。「寅さん」を見てもいないのに……。そのときは、のちに熱心な寅さんファンになるとは夢にも思わなかった。

「男はつらいよ」は母が大好きで、レンタルで逐次ダビングしては持参した。母は何度も同じ場面で笑っていた、とあとで聞いた。洋画にはない暖かさや安心感、懐かしい風景、渥美清の間の良さに吹き出し、いつの間にか俺もはまってしまった。そこには、生きてゆくことのせつなさが、ささやかな喜びが、そして悲しみが刻まれていた。渥美さんが亡くなって20年目の夏が過ぎた。あの口上は、天下一品でした。

さて、いいかねお客さん！ 角は一流デパート、赤木屋、黒木屋、白木屋さんで、紅、白粉つけたお姉ちゃんから下さい頂いていただきますと五千が六千、七千が八千、一万円はする品物だが、今日はそれだけ下さいとは言わない！ いいかい！ ハイ！ ならんだ数字がまず一つ、物の始まりが一ならば、国の始まりが大和の国、島の始まりが淡路島、泥棒の始まりが石川の五右衛門なら、助平の始まりが、このオジサンっての、ね！ 笑っちゃいけないよ、助平ってわかるんだから目つき見りゃ。続いた数字が二だ、二冊こうやって負けちゃおう。兄貴さん寄ってらっしゃいは吉原のカブ仁吉が通る東海道、日光結構東照宮、憎まれ子僧が出来ないように教育資料の一端としてお負けしましょう。もう一冊。ホラ、どう。産で死んだが三島のお仙、お仙ばかりが女子じゃないよ、ね。京都は極楽寺坂の門前でかの有名な小野小町が三日三晩飲まず食わずに野たれ死んだのが

人生に、寅さんを。

～「男はつらいよ」名言集2～

第2弾
発売中



画像：松竹株式会社 国内ライセンス室、株式会社キネマ旬報社より

三十三、とかく三という数字はあやが悪い。三・三・六歩で引け目がないというねえ、どう負かった数字が四つ、ほら四冊目。四谷赤坂麴町、チャラチャラ流れるお茶の水、粹な姐ちゃん立ち小便、白く咲いたか百合の花。四角四面は豆腐屋の娘、色は白いが水臭い。ねえ、どう、一度変われば二度変わる。三度変われば、四度変わる淀の川瀬の水車、誰を待つやらくるくるとゴホンゴホンと浪さんが、磯の浜辺でねえ、あなた、私じゃあなたの妻じゃもの、妻は妻でも阪妻よと来やがった。続いた数字が六つ、六だ！

昔、武士の位を禄という後藤又兵衛槍一本で六万石、禄でもない餓鬼が出来ちゃいけないというんで教育資料の一端としてお負けしましょう。この本、どう。七冊目七つ長野の善光寺、八つ谷中の奥寺で竹の柱に茅の屋根手鍋さげてもわしゃいとわせぬ、信州信濃の新そばよりもあたしゃあなたの側が良い、あなた百までわしゃ九十九まで共にシラミのたかるまでって云うやつ。どう、ねえホラ！ これで買い手が無かったらあたし、浅野内匠頭じゃないけど腹切ったつもり、だめか、え！ チキショウー！

口上は、「渥美清全曲集一男はつらいよ・渥美清の啖呵売一」（日本クラウン）より抜粋させていただきました。区の図書館で予約できます。後編では、渥美さんの遺した俳句などを掲載します。（加島幸洋）

「俳句を楽しむ会」が 始まります！

いつ：毎月第1金曜日 10:00～12:00

どこで：ウエーブ分室にて

参加費：500円（お茶菓子代含む）

俳句って難しそう・・・と思って、敬遠している方も多いかもかもしれません。本来は奥深く、感性が必要で確かに難しいのかも。でも、ウエーブでは「楽しむ」ことをメインに、「五・七・五」の言葉を並べて、頭の体操・認知症予防を目指します。みんなの句を聞いているだけでも楽しいですよ。どうぞお気軽にご参加ください。

ウエーブ 俳句

水引の花ぼつぼつと付きにけり
蓑虫の風にゆられて風任せ
野に遊び付きしらみて離れぬ草虱

高橋ツヨ

輪の中に入ってみたき阿波踊り
バスの窓稲穂緑のグラディシヨン
怪獣のポスタ染めて秋日落つ

横溝幸子

若林「音楽は絆」交流フェスタのご案内

いつ：12月4日（日） 12：30～16：00

どこで：スタジオ AR（世田谷区若林4-24-20）

入場無料



ご縁があって、若林在住でご自宅にスタジオをお持ちのKさんから「スタジオを地域のために使ってください」とご提案をいただき、標記の音楽祭を開催することになりました。小泉公園のお祭りと同じく「世田谷区 地域の絆ネットワーク支援事業」の助成金を受けてのイベントです。

親と子が一緒に演奏を楽しむ「親子ばとコーラス」、銭湯のだんなさん方の「銭湯ダンナーズ」の三味線と民謡、心の病を持つ方の施設「ハーモニー」のメンバーによる合奏など9団体が出演し、音楽を通して絆をつくることをめざします。よかったらフラッと、のぞいてみませんか。

ウェブの会員になりませんか（会員登録のお願い）

■正会員：年会費3,000円

ウェブのサービスを利用したい方や、
ウェブの活動をスタッフと一緒に支えてくださる方

■賛助会員：年会費5,000円

時間や労働力の提供はできないけれど、資金面で支えてくださる方

■寄付：金額自由（随時受付）

会員にはならないけれど、応援したいと思ってくださる方

振込先はこちらです

郵便振込：00170-9-401564

〔名義〕コミュニティ・ネットワーク・ウェブ

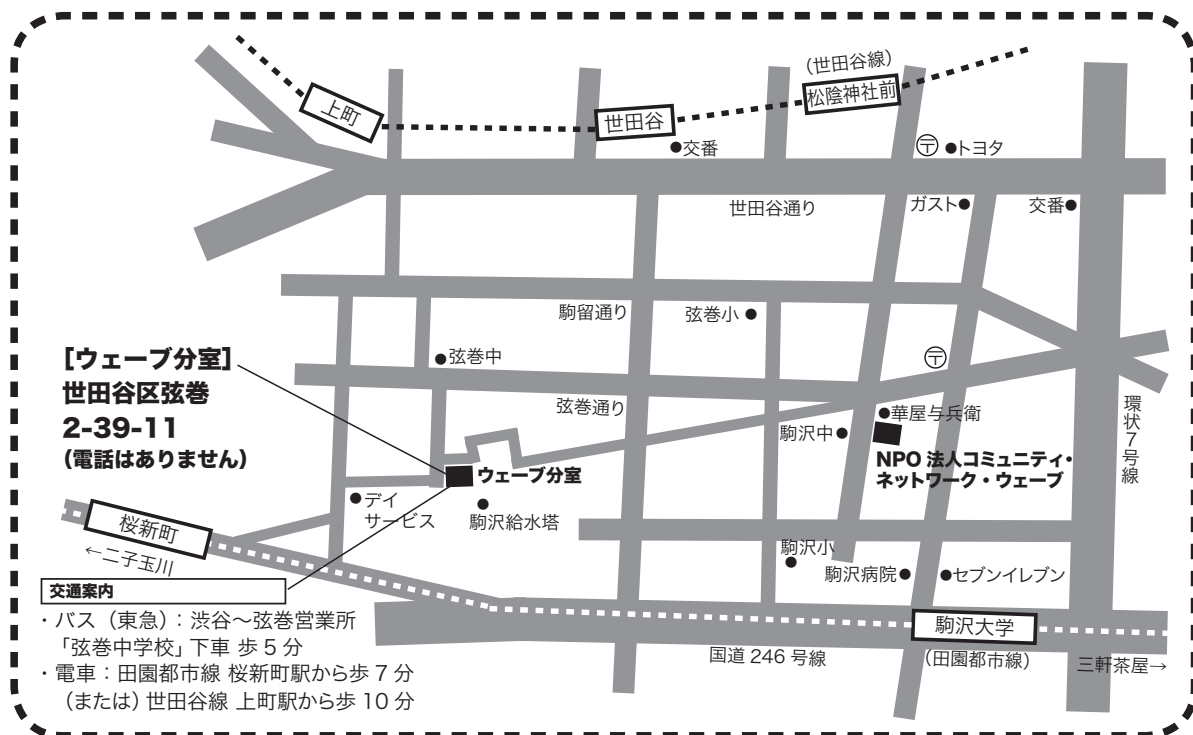
銀行振込：みずほ銀行 駒沢支店（普）2025583

〔名義〕特定非営利活動法人コミュニティ・ネットワーク・ウェブ

ウェブ通信「おおなみなみ」は、コミュニティ・ネットワーク・ウェブ（CNW）の活動を多くの方に知っていただくために、年4回発行しています。ボランティアさんや地域の方、ウェブを利用されている方などから記事をいただき、絵の好きな方から表紙やイラストを提供いただいています。ウェブは「地域」を見つめながら活動しています。地域のいろいろな声の発表の場として、みなさんに利用していただきたいと思います。

NPO 法人コミュニティ・ネットワーク・ウェーブのご紹介

◎ NPO 法人コミュニティ・ネットワーク・ウェーブ（CNW）は、障害のある人もない人も、高齢者も子どもも若者も、すべての人が家庭や地域の中で普通に日常生活を送り、支えあって暮らす社会（ノーマライゼーション）の実現をめざして、1994年に設立されました。高齢者・障害者の支援をはじめ、差別や偏見による人権の問題、家庭内での暴力の問題、環境保護に関わるリサイクルなど、さまざまな問題に取り組み、その解決に向けて努力を重ねています。不安の多い世の中において、心のよりどころを求めている多くの人たちのオアシスになれることを願って活動しています。



だれでもサロン道草

tel:03-5430-7780
(火・水・木 13:00～18:00)
fax:03-5430-7780
(いつでも可)

介護事務所

tel:03-5430-7781
(9:00～19:00)
fax:03-5430-7771
(いつでも可)

交通案内

- バス（東急）：渋谷～弦巻営業所「駒沢中学校」下車すぐ
- 電車：田園都市線 駒沢大学駅から徒歩7分
(または) 世田谷線 松陰神社前駅から徒歩9分

ウェーブ通信「おおなみこなみ」第78号

発行日：2016年10月15日

発行所：NPO 法人コミュニティ・ネットワーク・ウェーブ

154-0012 世田谷区駒沢2-4 3-9 駒沢サンハイム106

メール wave@ngo-npo.org ホームページ <http://www.ngo-npo.org/wave/>